

## 日本初の台風科学技術研究センター設立

センター開所式の様子

**横**

浜国立大学は2021年10月1日、本学先端科学高等研究院に【日本で最初の】台風専門研究機関である「台風科学技術研究センター」を設立しました。

当センターは、日本全国の台風研究者と、電気化学・船舶工学・法学・経済経営学といった本学の特色ある研究など、様々な分野の専門家が研究目標を共有して協働し、新たな台風に関する学術領域開拓と新技術の社会実装を加速する研究拠点です。

台風による災害は地球温暖化に伴いますます激甚化してきており、国や自治体により様々な台風防災・減

災の対策が講じられています。台風は依然として脅威の存在です。

一方見方を変えれば、台風は自然エネルギーの塊ですので、その巨大なエネルギーを資源として活用できれば、脱炭素社会の実現に寄与する再生可能エネルギー源の確保につながります。

そこで台風科学技術研究センターでは、台風を人類にとって「脅威」の存在ではなくし、さらにはエネル



ギーをもたらす「恵み」へと変貌させた、安全・安心で持続可能な活力ある社会を実現することを目指しています。詳しくは <https://trc.ynu.ac.jp/>

## 台風科学技術研究センター長・筆保弘徳教授が、ムーンショット型研究開発<sup>(※)</sup>事業のプロジェクトマネージャーに採択



筆保教授  
より

**本**

学教育学部・先端科学高等研究院の筆保弘徳教授が、科学技術振興機構(JST)のムーンショット型研究開発事業 目標8「2050年までに、激甚化しつつある台風や豪雨を制御し極端風水害の脅威から解放された安全安心な社会を

実現」のプロジェクトマネージャー(PM)に採択されました。

今後、筆保教授らの研究チームはムーンショット目標8コア研究の「安全で豊かな社会を目指す台風制御研究」プロジェクトに取り組みます。

(※)ムーンショット型研究開発制度とは  
内閣府が主導する「ムーンショット型研究開発制度」は、超高齢化社会や地球温暖化問題など重要な社会課題に対し、人々を魅了する野心的な目標(ムーンショット目標)を国が設定し、挑戦的な研究開発を推進するものです。

ムーンショットミレニア・プログラムから始まった約1年半、長い道のりでしたが、ついにここまでたどり着くことができました。これも、たくさんの方々からのご助力のおかげです。そしてこのムーンショット目標8のPM(プロジェクトマネージャー)への採択を新たなスタートとして、台風制御に向けた基礎研究を進展させていきたいと思っております。

comment



## 第8回YNUプラウド卒業生表彰式を行いました

2021年12月22日、本学事務局本部棟にて第8回(令和2年度)YNUプラウド卒業生表彰式が行われました。

本学では卒業生の諸先輩で社会の各方面で活躍されている方や顕著な成果をあげられた方等、社会に多大な貢献をされた先

達を「YNUプラウド卒業生」として認定・表彰しております。

今回表彰されたのは右記4名の方達です。

### YNUプラウド卒業生

- ・森久保仙太郎(もりくぼせんたろう)氏…友松会推薦
- ・亀崎英敏(かめざきひでとし)氏…富丘会推薦
- ・相澤益男(あいざわますお)氏…名教自然会推薦
- ・鈴木建吾(すずきけんご)氏…副学長推薦

### YNUの大学連携

## お茶の水女子大学と相互協力・連携に関する協定を締結



**横** 浜国立大学とお茶の水女子大学は、2021年11月22日、相互協力・連携に関する包括協定を締結し、同日にお茶の水女子大学において調印式を行いました。

協定書調印式の様子

お茶の水女子大学 佐々木泰子学長(左)と横浜国立大学 梅原出学長(右)

本協定は、お茶の水女子大学と横浜国立大学の組織間による連携強化を図り、知的・人的資産の交流を通じた両機関の男女共同参画推進や人材育成、教育・研究活動の活性化などを目的とするものです。

### YNUの大学連携

## 千葉大学と防災・減災と環境保全をはじめとする学術研究・教育等における連携のための協定を締結

2021年12月23日、横浜国立大学と千葉大学(中山俊憲学長)は、両大学の特色を活かした交流を図り、学術研究及び教育等において連携を推進し、両学の一層の発展に資することを目的に、相

互の連携・協力に関する協定を締結しました。

協定の内容としては、下記の2点を重点としつつ、両学間で連携推進会議を設置し、東京湾を挟んでアクアラインで繋がっ

ている国立大学同士として、あらゆる学術研究、教育、地域貢献等に関して連携や協力の可能性を探っていきます。

### (1) 防災・減災及び環境保全に向けて連携し、脱炭素社会の実現へ



環境リモートセンシング研究センター  
Center for Environmental Remote Sensing



台風科学技術研究センター  
Typhoon Science and Technology Research Center

【千葉大】環境リモートセンシング研究センター(CEReS)

【横国大】台風科学技術研究センター(TRC)

### (2) 学術研究成果から社会価値創出へ



学術研究・イノベーション推進機構  
ACADEMIC RESEARCH & INNOVATION MANAGEMENT ORGANIZATION



Institute of Advanced Sciences  
横浜国立大学  
先端科学高等研究院

【千葉大】学術研究・イノベーション推進機構(IMO)

【横国大】先端科学高等研究院(IAS)

## 理工系創立100周年記念式典及び特別記念講演会を開催

# 横

浜国立大学理工系学部・大学院は2020年に創立100周年を迎えました。

新型コロナウイルス感染症の影響により式典等の開催を延期していましたが、2021年11月20日に記念式典及び特別記念講演会を開催しました。

式典当日は新型コロナウイルス感染症対策に配慮し、多くの卒業生等にはオンラインによるライブ配信でご視聴いただきました。

式典終了後には、2019年にノーベル化学賞を受賞された旭化成(株)名誉フェロー吉野彰先生をお招きした特別記念講演会を開催。特別記念講演会では『リチウムイオン電池が拓く未来社会』と題し、ノーベル賞受賞までの道のりからリチウムイオン電池と未来の車社会、カーボンニュートラルに向けた取り組み等についてのご講演をいただきました。参加した学生は熱心に吉野先生の話の聞き、質疑応答する姿

が見られ、講演会は盛況裡に終了しました。



旭化成(株)名誉フェロー 吉野 彰 先生

## 文部科学大臣表彰

### 「若手科学者賞」を5名の教員が受賞

# 令

和3年度の「科学技術分野の文部科学大臣表彰」において、本学の教員5名が「若手科学者賞」を受賞しました。「若手科学者賞」は、萌芽的な研究、独創的視点に立った研究等、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績をあげた若手研究者を対象としています。



左から竹内准教授、水野准教授、西島准教授、梅原学長、島准教授、癸生川准教授、三宅理事

#### <受賞者>

癸生川陽子 工学研究院准教授

「太陽系小天体における有機物の形成と進化の研究」

島 圭介 工学研究院准教授

「未知を知る確率的人工知能と医療福祉支援に関する研究」

西島喜明 工学研究院准教授

「プラズモン誘起光エネルギー変換に関する研究」

水野洋輔 工学研究院准教授

「超高性能光ファイバセンサに関する研究」

竹内尚輝 先端科学高等研究院 特任教員(准教授)

「断熱超電導ロジックを用いた極低電力集積回路の研究」

## 令和2年度・3年度入学歓迎式および 令和4年度入学式開催

# 新

新型コロナウイルスの感染拡大により開催が見送られていた現2・3年生(当時1・2年生)の入学式を、「令和2年度・3年度横浜国立大学入学歓迎式」として、2021年11月14日に日産スタジアムで実施しました。式典では卒業生からのメッセージや、本学学生のアカペラグループによる合唱が動画にて放映され、本学グリークラブ(男声合唱団)から学生歌「みはるかす」が贈られました。

また、2022年4月7日にはパシフィコ横浜 国立大ホールにおいて、「令和4年度横浜国立大学入学式」を挙行了しました。式典では新入生代表者による宣誓の後、本学管弦楽団、吹奏楽団、混声合唱団による演奏や合唱が贈られました。

なおこれらの式典においては新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、入場は学生のみとし、入場時の検温や消毒、座席間隔の確保をはじめ、感染対策を十分にとって実施しました。また当日出席できなかった学生やご家族の皆様等に向けて、当日の様子を撮影した動画を公開しました。



令和2年度・3年度横浜国立大学入学歓迎式におけるグリークラブの合唱

## 部活動・サークル紹介

硬式野球部、  
神奈川大学野球連盟1部リーグに昇格!

横浜国立大学硬式野球部は、「人として組織として野球人として最大限成長できるチームであれ」という理念のもと、監督やコーチ、トレーナーと連携し、部員が中心となって活動しています。試合や練習で出た課題を共有し、部員同士で互いに指摘し合うことで、より高いレベルを目指しています。

学業優先を徹底しているため、全体練習は時間的な制約を受けます。そのため、下級生を含む全部員が目的意識を持って取り組んでいます。

国大野球部は2021年秋に、3期ぶりの1部リーグ昇格を果たしました。しかし過去の成績として、1部リーグでは春に好成績を残せても秋で惨

敗し、1部常連校との力の差を見せつけられることがほとんどでした。

そこで2022年度は、春「Aクラス」、秋「関東大会出場」を目標として掲げています。1部と2部を行き来するのではなく、常に1部に、さらには上位争いに食い込むような、そんな国大野球部を作りたいと考えています。1年を通してレベルアップし、常に挑戦者として高みを目指していきます。

今年は、国大野球部が長い間1部リーグで戦い続け、そして、勝ち続ける。そんな「新しい歴史を作る」1年になればと思います。長い歴史に名を刻む、『国大新時代』の幕開けにご期待ください。

アメリカンフットボール部MASTIFFSが  
関東学生連盟1部リーグTOP8へ昇格しました

横浜国立大学アメリカンフットボール部MASTIFFSが、2021年度の関東学生アメリカンフットボール連盟リーグ戦において1部リーグ「BIG8」2位の成績を収め、TOP8へ昇格しました。

横国アメフト部はBブロックで駒澤大学・国士舘大学・日本体育大学と戦い、2勝1敗でBブロック1位となりました。Aブロック1位の慶應義塾大学との試合には敗れましたが、創部初のTOPリーグへの昇格を果たしました。



## 《2021年度主将より挨拶》

2021年度主将を務めさせていただきました、理工学部の黒田勇介です。

2021年度は新型コロナと共存の中での活動となり、難しいシーズンとなりました。そのような情勢の中でもたくさんのお力添えをいただき、ありがとうございました。

目標であった『TOP8昇格』を果たすことができ嬉しく思います。2022年度は新たな舞台でのチャレンジとなりますが、目標である『下剋上』を果たすべく今後も尽力していきます。引き続きご支援・ご声援のほどよろしくお願いいたします。

## 本学の研究情報発信の取組み紹介

## SHIFT! YNU

津村 明子 研究推進機構

特任教員(准教授) /  
リサーチ・アドミニストレーター

研究推進機構の活動についてもっと知りたい

横国 研究推進



研究者が自身の研究結果を公表する手段のひとつに、研究成果論文を学術雑誌に投稿して発表する方法があります。一般に、論文を雑誌に投稿すると、内容の審査を経て受理されると掲載されますが、この過程で研究者は出版社に投稿料や掲載料を支払うことがあります。掲載料は高いものだと数十万円することもあります。実験や調査といった研究活動そのものだけでなく、成果の発表時にも実はこのような費用が発生しているのが実情です。

研究推進機構では2017年度から「査読付国際ジャーナル論文投稿支援事業」を始め、研究者の論文発表に係る費用の一部を支援しています。2018年度からは横浜国立大学基金へのご寄附を事業遂行に活用させていただいています。2021年度は本事業で21件、およそ4百万円の支援を行うことができました。

皆様の応援によってYNUの多様な研究が支えられています。深く感謝申し上げます。

様々な社会問題を解決するための光ファイバセンサの開発に取り組む水野洋輔准教授と、漢詩や古典文学の魅力を伝え、現代との架け橋となる研究をしている高芝麻子准教授をご紹介します。

## 安全な社会を実現する「人工神経」の開発

大学院工学研究院 水野 洋輔 准教授

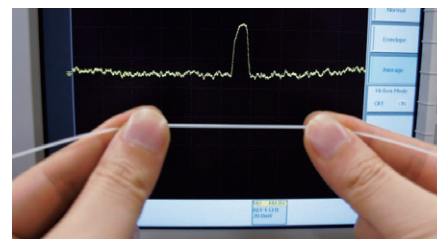
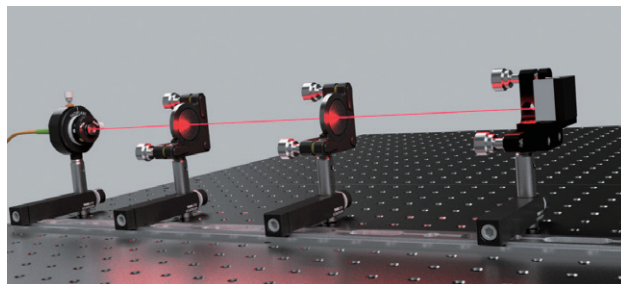
**建**物や橋、ダム、トンネルなど、さまざまな社会インフラの災害による損傷や経年劣化を正確に診断する技術の需要が高まっています。そこで、光ファイバをさまざまな構造物に「神経」として埋め込もう、という取り組みが始まっています。この人工神経が機能すれば、その構造物自身が「ここが痛い」「ここが熱い」など、人間と同じような反応を示してくれることになり、維持管理の効率が飛躍的に向上します。このような構造物は、スマートストラクチャと呼ばれています。

私たちの研究グループでは、スマートストラクチャを実現するための光ファイバ応用計測技術について研究しています。特に注力しているのは、光ファイバに沿った任意の位置で変形(伸び)や温度などの計測ができる

「分布型」の光ファイバセンサです。これまでに、連続光の相関制御という従来とは全く異なる原理に

基づくシステムを開発し、世界最高の動作速度や空間分解能(短い区間を検出する能力)を達成しました。現在は、本システムの実用化を目指し、他の研究機関や企業とも協力しながら、日々研究を進めています。

また最近では、車の自動運転などの支援技術として注目されるLiDAR(対象物に光を当てて距離等を測定する技術)の研究にも取り組んでいます。私たちの研究グループでは、光ファイバセンサの開発で培った技術を空間系に拡張することで、新たな原理に基づくLiDARを開発し、従来困難であった測距と高速振動分布の同時検出に成功しました。



将来的には、流速分布測定への応用を通じて、感染症対策にも貢献したいと考えています。

MIZUNO Yosuke

大学院工学研究院

研究分野：  
センシングフォトニクス、  
光ファイバ応用工学



## 旅人たちの漢詩から出会い直す神奈川県

教育学部 高芝 麻子 准教授

**私**の研究対象である漢詩は中国の古典としての印象が強いですが、実は日本でも数多く作られています。「絵島」(『黄葉夕陽村舎詩』後編卷六)という漢詩を見てみましょう。作者は菅(かん)茶山(ちゃざん)(1748-1827)、福山藩(現在の広島県東部)の儒学者で、1815年、江戸藩邸から藩に帰る途上立ち寄った江の島(絵島)でこの詩を作りました。

山陽諸嶋列成隣

山陽の諸嶋 列(なら)びて隣を成し

佳境各堪誇北人

佳境各(おのお)の北人に誇るに堪(た)う

一事唯難及斯地

一事 唯(た)だ斯(こ)の地に及び難きあり

芙蓉隔海露全身

芙蓉 海を隔てて 全身を露(あらわ)す

彼は瀬戸内の島々(山陽諸嶋)が織りなす絶景を都の人々(北人)に誇りながら、江の島には、そんな瀬戸内にもない圧倒的な魅力が一つあると詠います。それは海の向こうに富士山(芙蓉)の全景が見えること。故郷福山藩を愛し、お国自慢をしながら、江の島ならではの美しい景色を愛でる、旅の楽しみは今も昔も変わりません。

神奈川を描く漢詩の多くは旅の途上の作です。風景だけでなく、箱根を越え江戸に向かう武士は志を詠い、幕末の浦賀では国防に思いを馳せ、明治の横浜では欧米に旅立つ心意気を詠むなど、江戸・東京と日本各地・海外を繋ぐ重要な地域として神奈



川は人々の詩心を動かしてきました。この漢詩という文化資源を掘り起こし、神奈川を旅した古人の「思い」に触れることで、神奈川に新しい光を当てていく研究や教育ができたらと願っています。



TAKASHIBA Asako

教育学部

研究分野：中国古典文学、  
日本漢文学

## 2022年度開始 「コロナ禍時代の学生応援寄附金」のお願い



本学では新型コロナウイルス感染症拡大の影響により生活に困窮する学生を支援する為、2020年5月から「緊急学生支援寄附金」を募集させていただき、多くの卒業生、同窓会、保護者や企業の皆さまから励ましのお言葉と多くのご寄附を賜りました。

このご寄附を原資として、約1,300名の学生に返済不要の「生活支援奨学金」を支給させていただきました。加えて「入国する学生への移動支援」として、外国人留学生在が入国した際に必要な自主隔離に係る宿泊支援、新型コロナウイ

ルス陽性者（自宅療養者）への食糧支援などに活用させていただきました。

コロナ禍が続き2年が経ちますが、依然として終息の見通しはなく予断を許さない状況が続いております。本学では学生に寄り添った支援を継続して行う為、2022年度から寄附金の名称を「コロナ禍時代の学生応援寄附金」に変更し、引き続きご寄附を募ることいたしました。学生たちが安心して学生生活を過ごせるように引き続き全力で取り組んで参りますので、皆様の厚いご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

### 「コロナ禍時代の学生応援寄附金」

【募集期間】

2022年4月1日～当面の間

【使途】

- ・「入国する学生（日本人学生を含む）への移動支援」
- ・「新型コロナウイルス陽性者（自宅療養者）への食糧支援」

ご寄附お申し込みはこちらから  
スマートフォンからもお申し込み  
いただけます。



### 緊急学生支援寄附金のご報告

寄附受入件数／寄附受入総額

**1,340件／83,880,000円**

2020年5月～2022年3月31日

<お問い合わせ>

横浜国立大学 卒業生・基金室

E-mail: [ynu.kikin@ynu.ac.jp](mailto:ynu.kikin@ynu.ac.jp)

TEL: 045-339-4443

(月～金 9:00～17:00)



横浜国立大学  
基金室  
ウェブサイト  
を  
リニューアル  
しました

## 横浜国立大学公式ウェブサイト 学生インタビュー 「挑戦する横国の学生たち -VENTURE SPIRIT-」

学業だけでなく、学内外のさまざまな活動にも熱心に取り組む横国の学生たち。そのユニークな活動とチャレンジ精神の源に迫るインタビューコーナーです。ぜひご覧ください。

ベンチャースピリット（学生インタビュー紹介ページ）

➡ <https://www.ynu.ac.jp/special/venturespirit/>



### 卒業生・修了生の皆さまへ データ登録のお願い

本学では卒業生との連携を深めることを目的として、卒業生・修了生の方々に連絡先、就職（進学）先等のウェブによるデータ登録をお願いしています。登録データの使用内容は以下のとおりとなります。

1. 大学最新情報案内のメールマガジンの配信（月1回程度）※希望者のみ
2. 本学ウェブサイトや広報誌等の卒業生インタビューのお願い
3. 卒業生・基金室、校友会、同窓会からの各種お知らせの送付

本趣旨と使用内容をご理解の上、ご賛同いただける場合は、ご登録をお願いします。

**登録方法** パソコンより下記ページにアクセスしてください。

**方法** [詳しくはこちら](#) 横浜国立大ウェブサイト → 「卒業生」 → 「卒業生・修了生データ登録」

